

コンビ スーパーメチャカル

HJ-359 取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本書は大切に保存してください。
開梱後、取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。



安全基準A型
(2カ月~2才まで)

目 次

●はじめに	1	●セーフティガードの使い方	
●ご使用上の注意		●シートベルトの使い方	
●各部のなまえ	3	●足のせの使い方	8
●開き方	4	●着脱シートの取り扱い方	
●リクライニングの使い方	5	●フロントカバーの使い方	
●アームレストカバーの使い方		●折りたたみ方	9
●日除け(幌)の使い方	6	●日常のお手入れ	
●キャスターの使い方		●品質保証書	10
●ストップバーの使い方		●SGマークについて	
●買い物カゴの使い方	7		

はじめに

このたびは、スーパー・メチャカルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

スーパー・メチャカルはお子様の体の特徴、発育状況、操作される方の使い勝手を研究し、安全面、強度面の様々な試験をくりかえして開発されました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、取扱説明書は必ず大切に保存してください。

また、一部現物と異なるイラストを使用している箇所がありますが説明内容自体は正しいものです。

ご使用上の注意

ご使用にあたって特に次の点にご注意ください。

[このベビーカーはSG基準A型に適合した1人乗り用です。]

- 使用してよい乳幼児の年令：生後2カ月以上満2才まで。
- 連続使用時間：2時間以内が望ましい。

- ご使用になる場合は、折りたたみ構造の止め金具などがしっかりとかかっているか（完全に開いた状態であるか）を確認してからご使用ください。ネジやナット類がゆるんでいないかも合わせて確認してください。



- シート以外のところに乳幼児を乗せないでください。また、ベビーカーの中で立たせないでください。



- 空車であっても坂の途中、車道に近い歩道など危険な場所での放置は絶対に避けてください。また、乳幼児や荷物を乗せたとき、ストッパーを過信しないでください。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

- 乳幼児を二人以上乗せないでください。

- シートクッションやアームレストカバーを付けずにお使用することはおやめください。指などをはさむ危険性があります。

- 乳幼児を乗せたまま持ち上げて移動しないでください。乳幼児が落ちたり、ベビーカーが折りたたまれる恐れがあります。
- 空車であってもセーフティガードを持って持ち運ばないでください。



- セーフティガードが付いていますが、シートベルトは腰ベルトと股ベルトを併用し必ず締めて使用してください。また、シートベルトを締めていても万一の立ち上がりに対しても、十分ご注意ください。



- カゴには5kg以上の荷物を載せないでください。
- 折りたたみ操作時以外は折りたたみレバーを握らないでください。
- 安全ロックスライダーがロック位置にあっても折りたたみレバーが多少動くことがあります但し機構上必要なゆとりであり、安全上問題はありません。
- ご使用中ハンドルによりかかったり過度の荷重をかけると、転倒するおそれがありますので、おやめください。

- 乳幼児を乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、つるしたりしないでください。



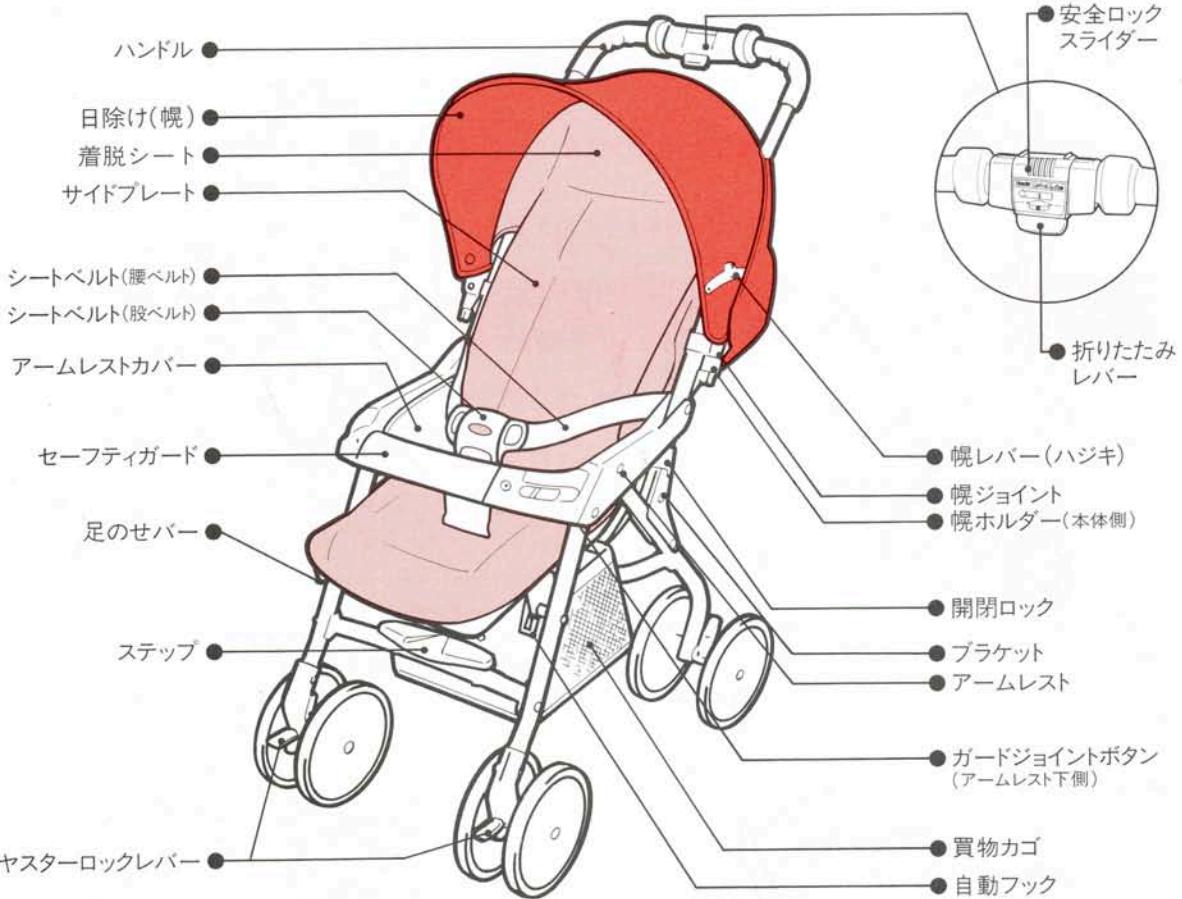
- 路上に駐停車する時、絶対に乳幼児を乗せたままベビーカーを離れないでください。



- 故障や変形の原因になります。特に次のような状態での保管はおやめください。
 - ・高温になる場所での保管。
(特に夏期の車内は高温になります。)
 - ・荷物等を重ねたり、圧力が加わるような状態での保管。
- 万一、破損・異常が発生した場合は、そのまま使用せず、必ず点検、修理を受けてください。

各部のなまえ

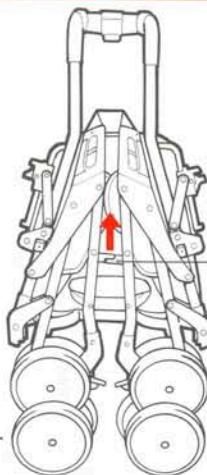
(取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。)



開き方

1

自動フックを上に引っ張ってはずします。



自動フック

2

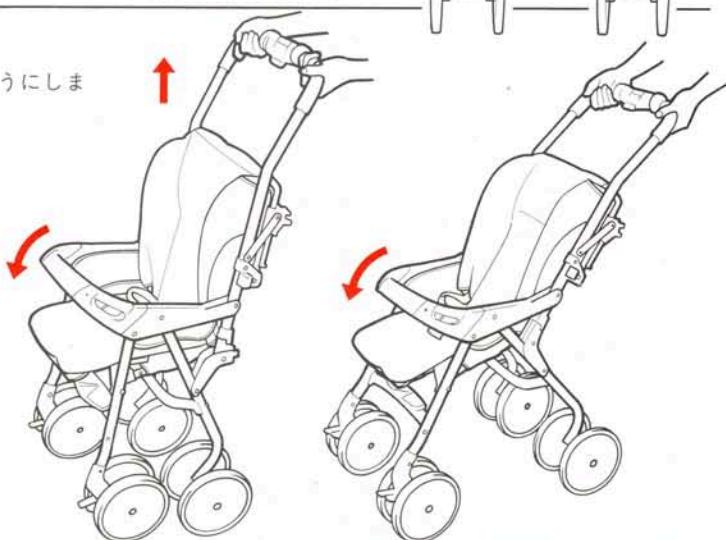
自動フックがはずしたら、ハンドルグリップを握り、手首を外に回して開きます。グリップを逆手で持つと操作が楽です。

※この状態で腰ベルトが
はみ出していたり開閉
ロックに引っかかった
りしていないかを確認
してください。もしは
み出しや引っかかりが
あれば③に移る前にベ
ルトをシート内側に引
っぱってください。



3

ハンドルグリップを持ち上げるよう
にしま
すと、自然に開きます。



ご・注・意

ハンドル操作部は開く際には
使いませんが、開いた後、安
全ロックスライダーがロック
位置にあることを必ずご確認
ください。また、折りたたみ
レバーは折りたたみ操作時以
外は握らないでください。

● ロックの
状態に
ご注意く
ださい。

ロックされている[走行の時]



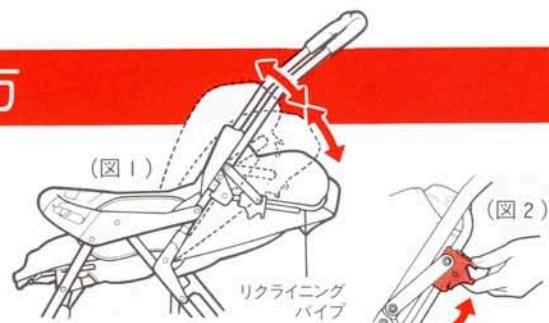
ロックが解除されている[折りたたむとき]



リクライニングの使い方

背もたれの角度は3段階に調節できます。(図1)

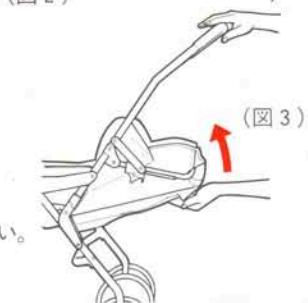
※お子様の首がすわるまでは一番倒した状態でお使いください。



倒し方

左右のリクライニングレバーを指でつまみながら背もたれを倒します。(図2)

※お子様を乗せて背もたれを倒すときは、リクライニングパイプを少し起こし気味にしてリクライニングレバーをつまんでください。なお、このときは、お子様の体重がかかっていますから急に角度が変わらないよう十分ご注意ください。

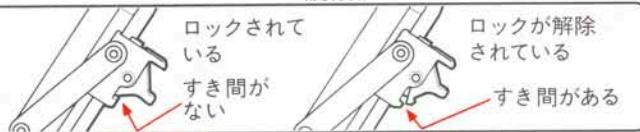


起こし方

片手でハンドルを押さえながら、片手でリクライニングパイプを押し上げてください。

(起こすときは、リクライニングレバーはつまみません。)(図3)

ご・注・意 操作後、リクライニングレバーが左右とも同じ位置で確実にロックされていることを確認してください。



アームレストカバーの使い方

アームレストカバーは必ず取り付けてご使用ください。

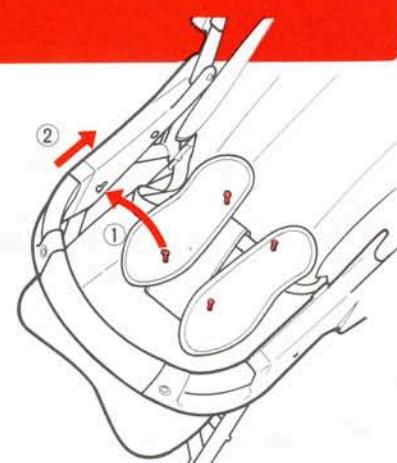
取り付け方

背もたれをいちばん倒した角度にします。

イラストをよく見て、アームレストカバーの左右を確認し、①前側の「突起」をアームレスト内側前部の穴(□)に差し込み、②後方にずらします。

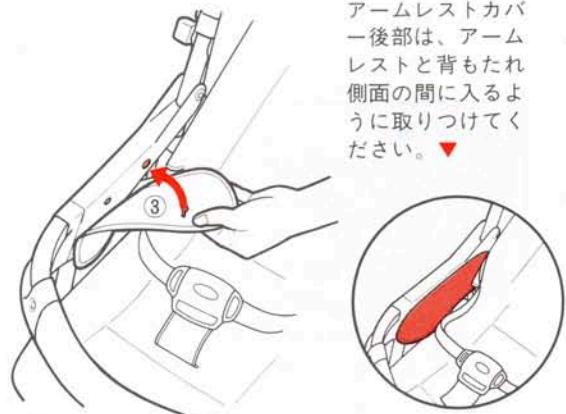
③次に、後側の「突起」をアームレスト後部の穴(○)にはめ込んで取り付けます。

ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかかるないか確認してください。



取りはずし方

まず、アームレストカバー後部の突起を内側に強く引っ張ってはずします。次に、アームレストを前方にずらせば取りはずせます。



ご・注・意

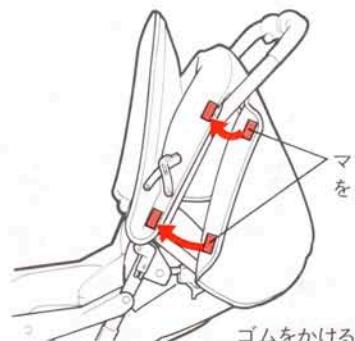
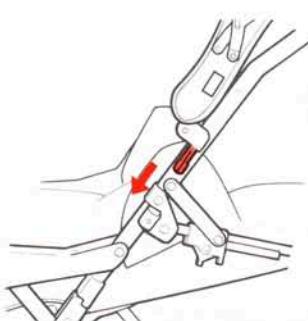
アームレストカバーをはずしたままお子様をベビーカーに乗せることは危険ですのでおやめください。



日除け(幌)の使い方

(取り付け方)

日除け(幌)の前後を確かめて幌ジョイントを幌ホルダーに差し込んでください。次に左右の当て布でハンドルパイプを包むようにマジックテープをとめてください。後ろのゴム部分を背もたれにかけてください。



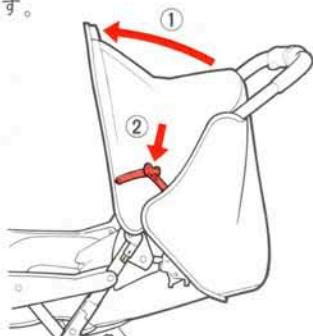
(取りはずし方)

側面のマジックテープをはずし、幌ジョイントの下端をつまみながら、引き抜いてはずします。



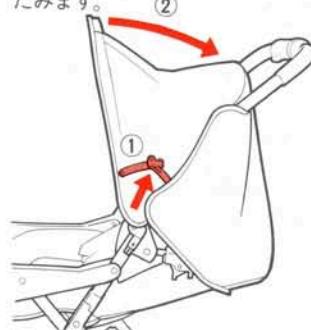
(ひろげ方)

①日除け(幌)を前にひろげ、②左右の幌レバー(ハジキ)の関節部を押し下げロックします。



(たたみ方)

①幌レバー(ハジキ)の関節部を下から押し下げてから、②たたみます。②



日除け(幌)取り扱い上のご注意:

変形を防ぐため、ねかせて収納するときは背もたれを下にして、上に荷物等を重ねないでください。また、長期保管の際は日除け(幌)ははずしてください。夏期の車室内等高温になる場所での保管はおやめください。

キャスターの使い方

キャスター ロックレバーを下げるとき、ロックが解除され車輪の向きが自由に動き方向転換が楽になります。固定させる場合はキャスター ロックレバーを進行方向前側で上げるとロックします。



ご・注・意

折りたたむ時はキャスターを左右とも固定させてください。

ストッパーの使い方

- 左右の後輪の内側にあるストッパーをつま先で下におろせばストッパーのロックがかかります。
- 解除する時はストッパーをつま先で上に上げてください。

ご・注・意

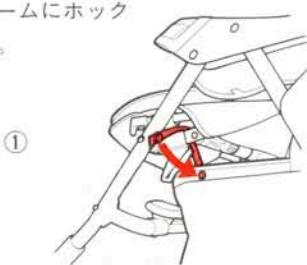
ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーをかけてください。ベビーカーを前後に軽く動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。



買い物カゴの使い方

〔取り付け方〕

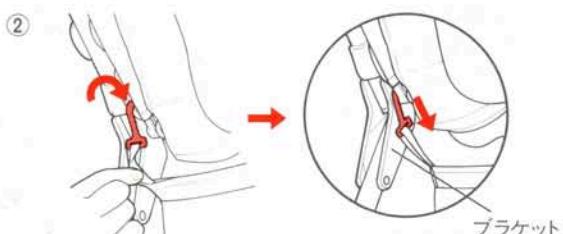
図①のようにカゴ前部の固定用ベルトをシート側部のフレームにホックで左右とも固定します。



ご・注・意

5kg以上の荷物は入れないでください。倒れやすい物は、あらかじめねかせて、また、荷物は、リクリーニングに支障のない高さにしてください。角のとがった物は入れないでください。折りたたむ際は荷物を出してください。

次に図②のようにカゴ後部の固定用フックをプラケットすぐ内側のすき間に上から差し込みます。荷物の出し入れは側面のファスナーで行ってください。



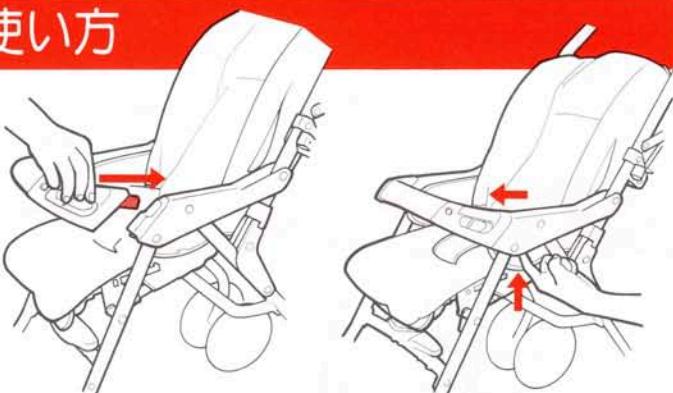
プラケット

セーフティガードの使い方

〔取り付け方〕

セーフティガードの上下を確かめ左右のアームレスト先端のガード穴に差し込んでください。

※確実に固定されたか必ず左右ともひっぱって確認してください。



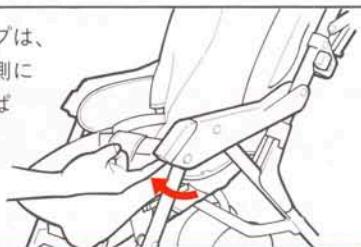
〔取りはずし方〕

アームレストの下側からアームレスト内側のガードジョイントボタンを押し上げながら片方づつ引き抜いてください。

セーフティガードを使わないときは、ガード穴にお子様が指を入れないように付属のガードキャップを差し込みます。確実に押し込んでください。



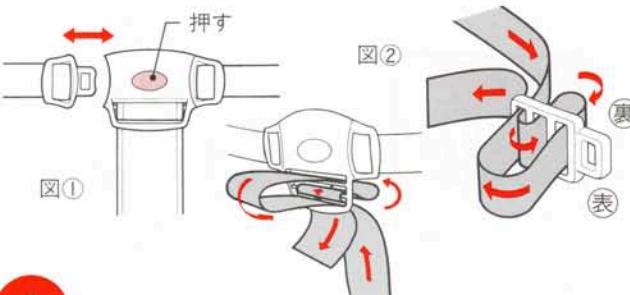
ガードキャップは、図のように下側に指をかけ引っぱると取りはずせます。



シートベルトの使い方 (腰ベルトの調整)

図①の○部のボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずせます。シートベルトを締めるときは股ベルトのバックルに左右の差し込みバックルを確実に差し込んでください。シートベルトの長さは、お子様の成長に合わせて調整できます。

調整や洗濯のときにバックルを取りはずした場合は、図②のとおりに確実に取り付けてください。



ご・注・意 お子様を乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。バックルの取り付け方が不完全だと大変危険です。安全のためにできるだけたるみを取って、しっかりと締めてください。

足のせの使い方

足のせを出していると、お子様が寝たとき、楽な姿勢で眠れます。使用するときは、左右の足のせバーを引き出し、シート前端のホックをとめます。使用しないときはホックをはずし、足のせバーを左右とも押し込んでおいてください。

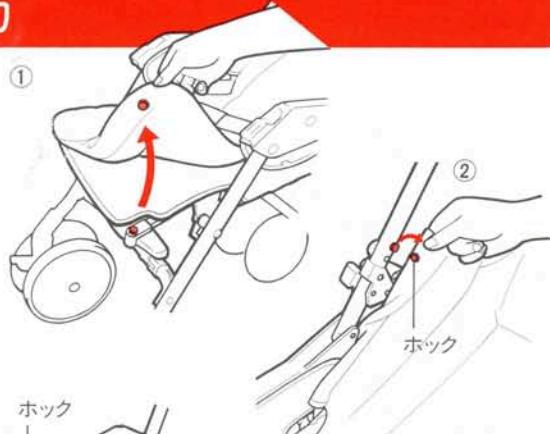
ご・注・意 足のせバーは左右同時に引き出してください。片側だけを引き出すと場合によっては抜けることがあります。



着脱シートの取り扱い方

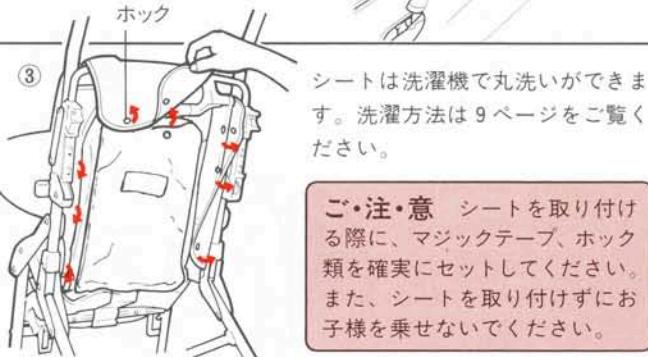
(取りはずし方)

- ①まず、足のせを使っているときはシート前端のホックをはずします。
- ②次に、左右のハンドルパイプにとめてある側面の布のホックをはずします。(背もたれを倒すと楽です)
- ③背もたれ裏側の8ヶ所のホックと当て布の3ヶ所のマジックテープをはずします。
- ④シートベルトのバックルをはずし、ベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルが通し穴に引っかかることがありますから、丁寧に扱ってください。



(取り付け方)

シートの裏面と車体のマジックテープを合わせ、8ヶ所のホックをとめます。側面の布のホックをハンドルパイプにとめます。シートベルトを通して、足のせを使うときは前端のホックをとめます。

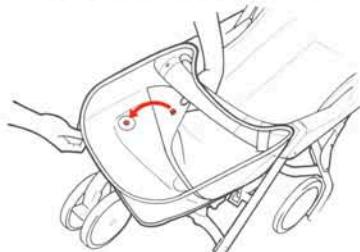


シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は9ページをご覧ください。

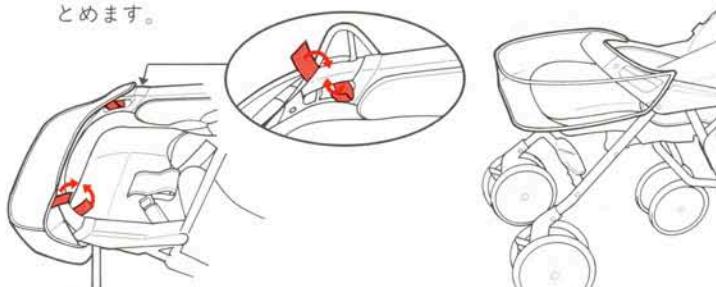
ご・注・意 シートを取り付け際に、マジックテープ、ホック類を確実にセットしてください。また、シートを取り付けずにお子様を乗せないでください。

フロントカバーの使い方

- ①足のせを引き出し、底面をシートとベースシートの間にはさみ、ホックを左右2ヶ所とめます。



- ②フロントカバー上面左右のマジックテープをセーフティガードの穴に通してとめます。



(取り付け後)

- ・材質の特性上セーフティガードや日除けの色が移ることがありますか、品質上問題はありません。
- ・フロントカバーの代わりに別売の「足カバーG-1型」を取り付けることもできます。

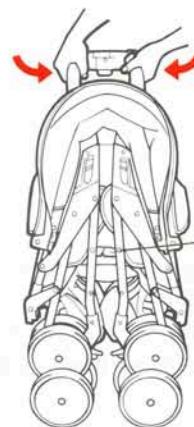
折りたたみ方

- ①キャスターロックレバーを上げ、キャスターを固定してください。(6ページをご参考ください。)
- ②背もたれをいちばん起きた位置にし、リクリニングレバーが固定されている事を確認します。(5ページをご参考ください。)
- ③日除け(幌)をたたみます。(6ページをご参考ください。)
- ④ベビーカーの後に立って、ハンドル中央部の安全ロックスライダーを右にずらして安全ロックを解除します。



①固定

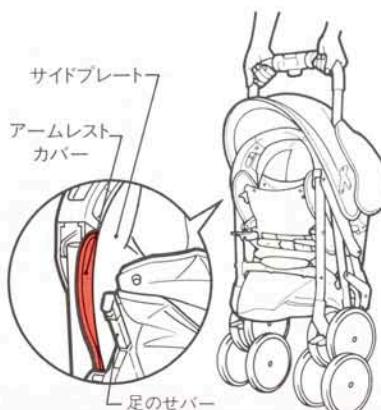
- ⑤折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に後ろへ倒すと自然にたためます。
- ⑦次にレバーから手をはなし、左右のハンドルグリップを逆手で持ち、手首を内側に回して折ると、自動的にフックがかかります。



*折りたたみ後は、必ず安全ロックスライダーをもとのロック位置にもどしてください。

自動フック

ご・注・意 折りたたみレバーは折りたたみ操作時以外は握らないでください。



日常のお手入れ

- 着脱式のシートは洗濯機で丸洗いできますが、以下の点にご注意ください。
 - ・40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
 - ・通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
 - ・長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。
 - ・軽く脱水した後、形を整えて平干してください。
 - ・乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 日除け(幌)、アームレストカバー、足カバー等はブラシ洗いしてください。水洗いした後、乾いた布で水分をふき取り、陰干してください。

- セーフティガードや本体フレームの汚れがひどいときは薄めた中性洗剤または水を含んだ布でふき取った後、乾いた布で仕上げてください。湿気をおびたまま放置しますと、カビがはえることがあります。
- 車輪についた泥は、必ずふき取ってください。
- 古くなつて注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。食用油はほこりがつきやすく、かえって機能を低下させます。また、キャスター部分への注油はおやめください。
- 車のトランク等に入れるときは、カゴを下にしてねかせてください。また、上に物を重ねないでください。
- 屋外で保管する場合、雨やほこりがかかるないようにご注意ください。

便利なオプション品(別売)

レインカバー
G-1型



足カバー
G-1型



- 雨のときの外出や、出先での急な雨、また、風の強い日などには、砂ぼこりからお子様を守ります。

- 冷たい風や寒さからお子様を守るセミソフトタイプ。

SGマークが表示されたベビーカーは、安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いになれます。しかし、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、赤ちゃんが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。

ただしご購入後3年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも障害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 生産物賠償責任保険の保険金の最高限度額は3000万円ですが、軽傷の場合でも3000万円の賠償をするということではありません。それぞれ実情をよく調査して、実損を填補する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者（赤ちゃんなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する所へ届けてください。

製品安全協会 東京都豊島区東池袋2-6-6

TEL (03)3590-6231

●事故賠償に必要な項目

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ)製品の名称、SGマーク番号 ロ)製品の購入先、購入年月日
- ②事故発生の状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③被害の状況
イ)被害者の氏名、年令、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)